

# 令和元年房総半島台風におけるフォー マル・インフォーマルの支援のあり方 について

2022年11月

災害支援ネットワークちば（CVOAD）

加納 基成（代表）、鍋嶋洋子（事務局長）

# 令和元年台風15号 千葉県被害状況

---

住家被害   〈全壊〉 448棟   〈半壊〉 4,694棟

**〈一部損壊〉 77,091 棟**

千葉市 6,367、市原市 6,563、袖ヶ浦市 3,061、香取市 4,245

山武市 2,578、成田市1,872、旭市 2,417、匝瑳市 2,290

君津市 4,422、東金市 1,552、八街市 2,903

富津市 3,586、南房総市 5,612、鴨川市 1,750

鋸南町 1,809、木更津市 3,848

館山市 4,867

(千葉県ホームページより抜粋、被害の大きかった市町のみ記載)

強風による屋根の破損がほとんどで、被災者ニーズの多くは屋根の修繕だった。



# 千葉南部災害支援センター



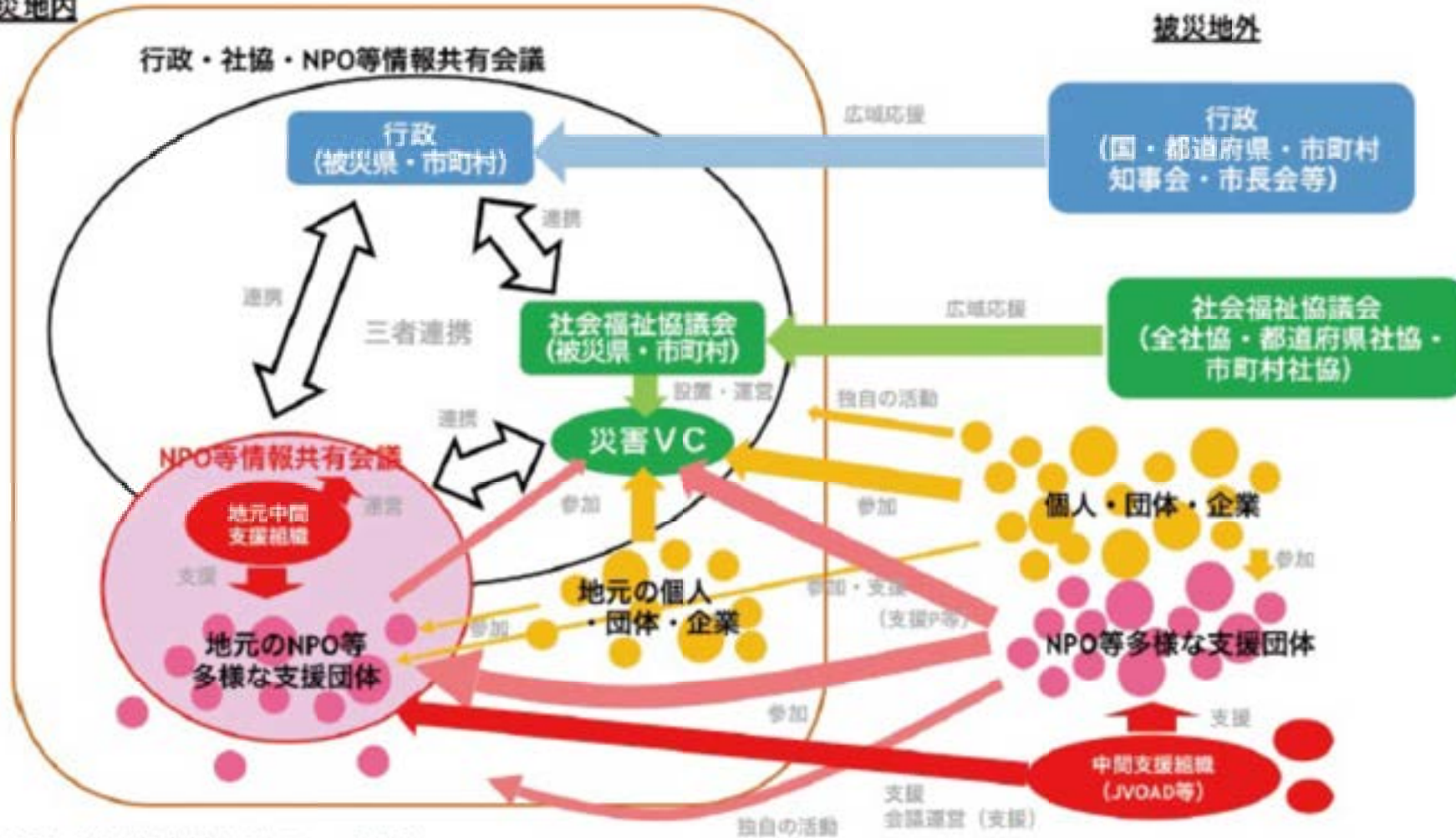
**CVOAD**

災害支援ネットワークちば

# 被災地内・被災地外の多様な主体による連携モデル

被災地内

被災地外



※ 2016年熊本地震クラスを想定

# 防災における行政の NPO・ボランティア等との 連携・協働ガイドブック

～三者連携を目指して～



平成30年4月  
内閣府防災担当

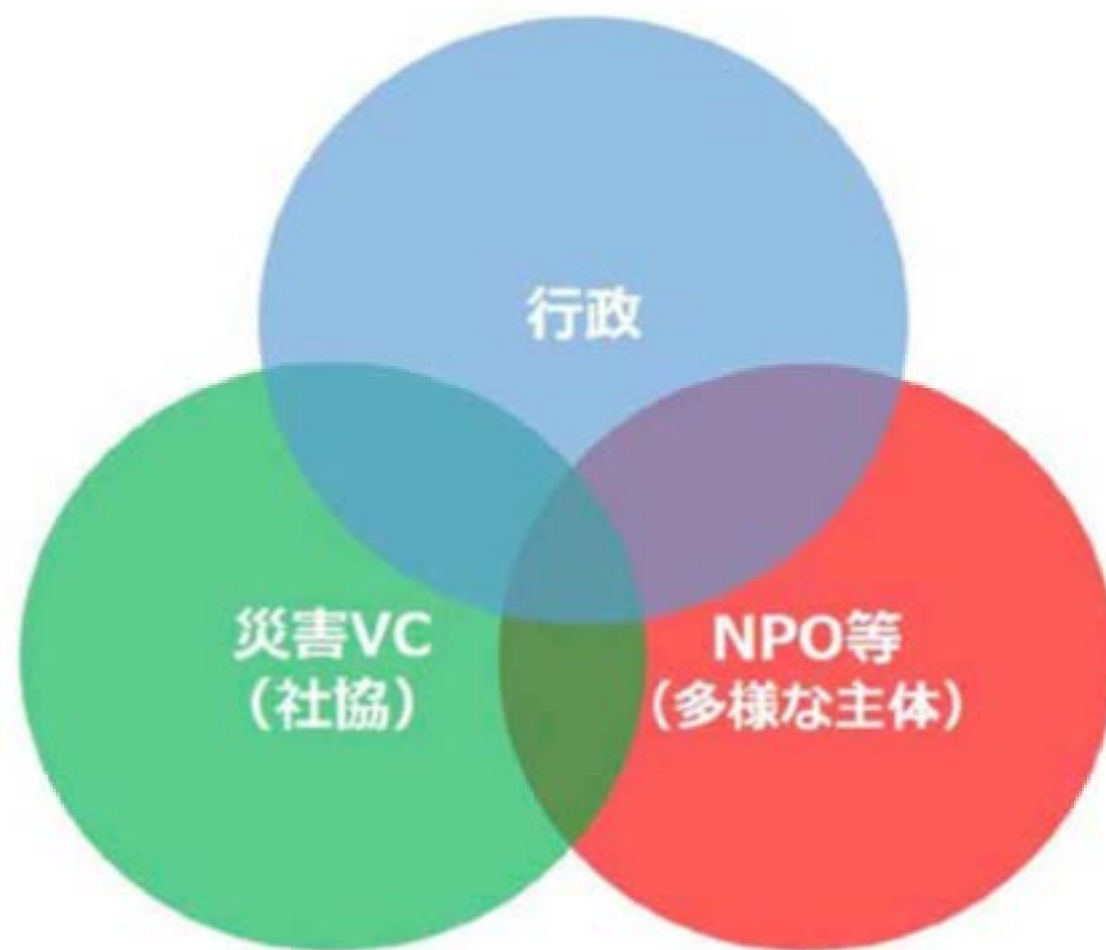
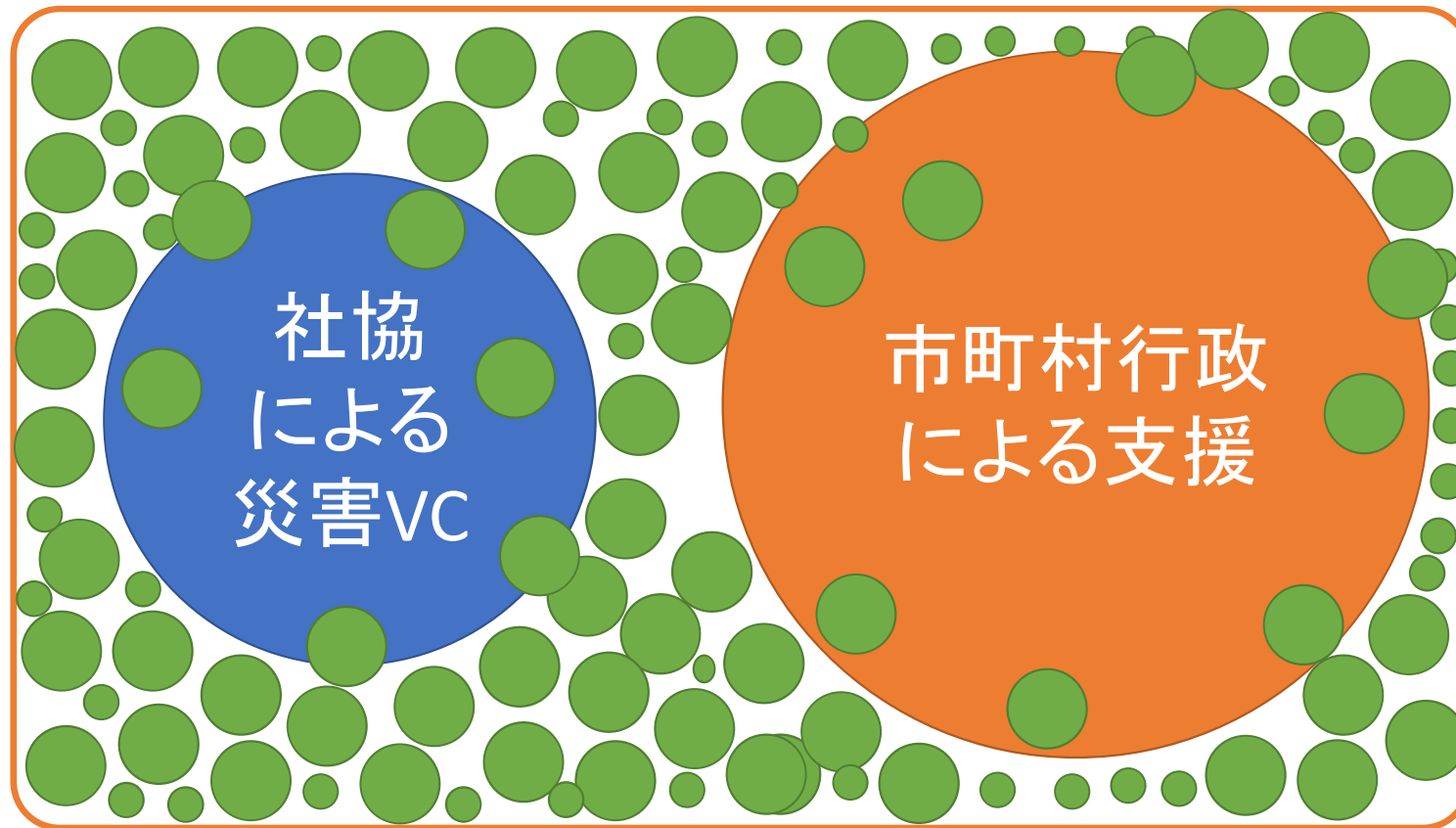


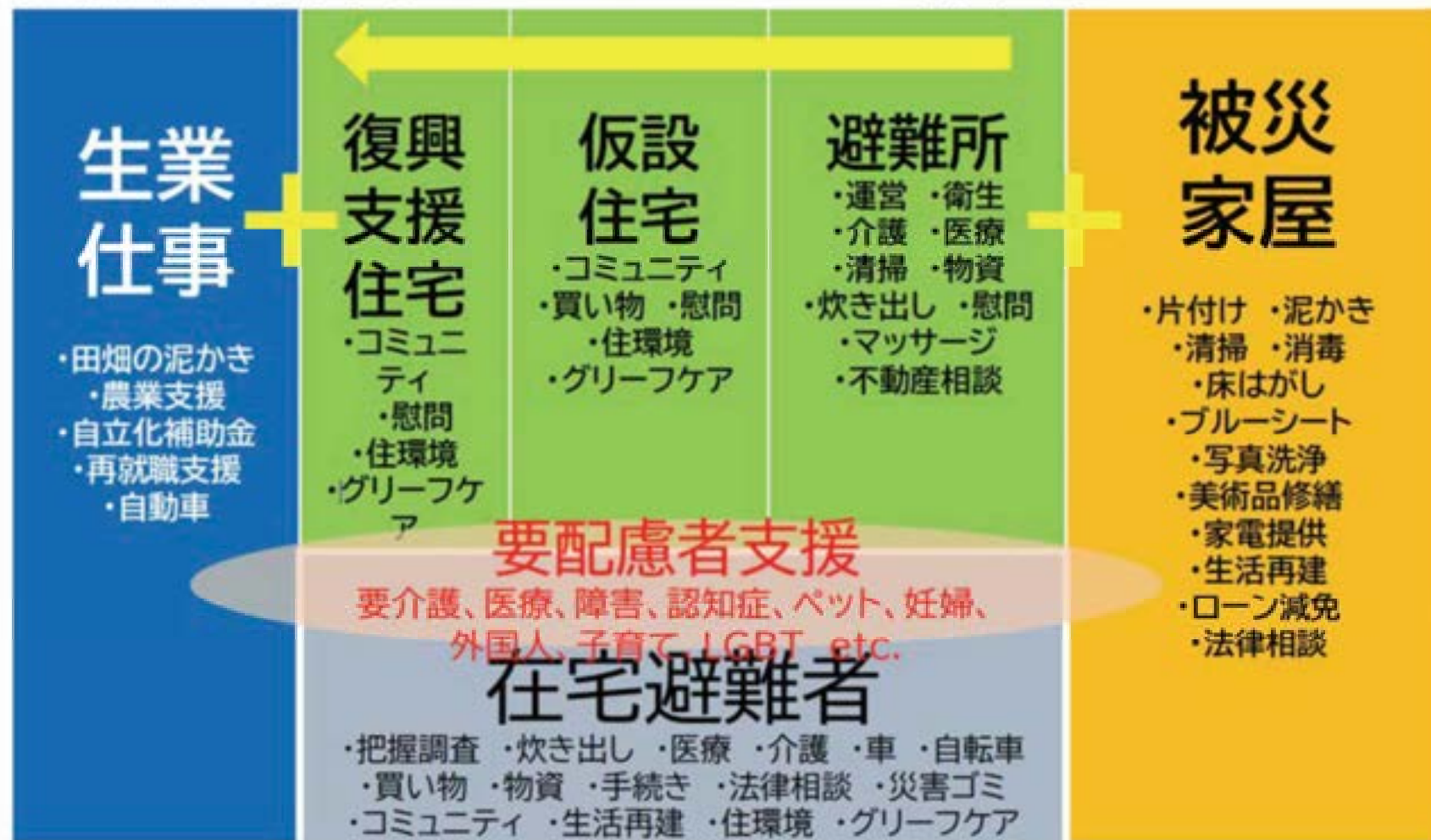
図 1.5 災害時の「三者連携」のイメージ

ニーズの隙間を埋める = 民間の支援

あわせて市町村や社協VCの支援・協働



# 災害支援ネットワークの領域



外部支援の  
受援調整

社協・行政の  
窓口

県内の民間の  
域内支援調整



# 3年前（令和元年）の9月

日本中から、  
災害支援団体、NPO、  
企業、学校、などの組織・・・、  
といった、多様な支援主体が、  
それぞれが得意とする災害支援を行うために、  
千葉に駆けつけてくれました。

- ・ 災害支援は長期化する
- ・ 災害支援の担い手は地域の人々
- ・ 市町村の境をこえた支援のプラットフォームが必要

3年前（令和元年）の9月

日本中から、

災害支援団体、NPO、

企業、学校、などの組織・・・、

といった、多様な支援主体が、

それぞれが得意とする災害支援を行うために、

千葉に駆けつけてくれました。

直後の台風19号（東日本台風）

多くの支援団体が、千葉から日本各地へ・・・

新型コロナウイルスの感染拡大

外部支援者の受け入れができない・・・

広い千葉県では、想定される「災害」も多様

・災害

・自然災害

震災

風水害

・人為災害

大規模火災

放射性物質事故

公共交通等事故

# 台風15号 (8日22時推定)

大きさ・強さ --・非常に強い  
方向・速さ 北 20km/h  
中心気圧 955hPa  
最大風速 45m/s  
最大瞬間風速 60m/s



**台風15号 非常に強い勢力に**











**発災前**

**NPO、市民活動団体の一員として**

平成27年9月関東・東北豪雨災害  
常総市の被災状況と  
常総市社協の取り組み



常総市社会福祉協議会 深谷和美



災害救援ボランティア  
SL SAFETY LEADER